



多文化共生シリーズ 国際交流員編

固市民連携推進課 ☎43-9257

多文化共生ってなに？

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的なちがいを認めあい、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことです。外国人市民も日本人市民も、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します。

国際交流員ってなにをするひと？

全国の自治体に配置される外国人の職員で、自治体の国際交流活動に従事します。日本語を話すことができ、外国人との「言葉の壁」を乗り越えるため、コミュニケーションのお手伝いをします。

9月に新しく着任した国際交流員のジュンジャンさんにお話を伺いました

異文化との出会い

私は中国上海市の出身で、中学卒業後にアメリカへ移住しました。住んでいたカリフォルニア州は、アメリカの中でも特に多文化的な州です。中国文化にしか触れてこなかった自分にとっては、アメリカで過ごした最初の数年間はとても新鮮でした。また、新しい文化を自分の中に取り入れていく過程で、日本からの交換留学生との出会いもあり、日本文化に熱中するきっかけを与えてもらいました。

多文化共生についての考え

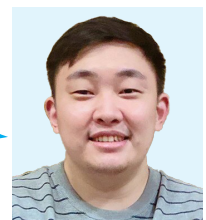
理解する努力さえ惜しまなければ、全ての国の文化は美しいものであると断言できます。人の人生は短く、文化という文化を全て経験し学ぶのは不可能です。しかし、だからこそ、身近にある自分とはルーツの違う異文化に触れることはとてもいい事だと思います。

国際交流員としての抱負


長い歴史とその奥深さを常に誇りに思う中国、多元化を認め、自由を謳歌するアメリカ、そして先進性を保ちつつ、伝統も重んじる日本、それらの文化を全て経験してきた自分はとても幸運だと常々思っています。

私はその経験を活かし、もっといろいろな人にその美しさを広めたいと思います。

ただ文化そのものを伝えるのではなく、異文化を楽しむという考え方を、国際交流員として、これからも皆さんと分かち合っていきたいと思えます。



アメリカ カリフォルニアから来ました。多文化共生を推進する一員です。

（お近くの外国人の方へお知らせください！ ）

はちのへし す がいこくじんのみなさん、
八戸市に住んでいる外国人のみなさん、
しやくしよ まどぐち じぶん くに ことば てつづ そうだん
市役所の窓口で、自分の国の言葉で手続きや相談が
できます。気軽に市役所の窓口に来てください。

- 対応言語 機械通訳30言語、ビデオ通訳12言語
- 受付時間 (月)～(金)8:15～17:00

固市民連携推進課(八戸国際交流協会 外国人相談窓口)
☎43-9257

多文化共生へのアイテム **多言語翻訳機** を配置しました！



ビデオ通訳による対応場面

AIによる機械翻訳と、オペレーターによるビデオ通訳の両方が利用でき、状況に応じてコミュニケーションをとりまします。